

◎現行経営戦略の策定から5年経過し、新たに見えてきた課題に対応する

- ① 持続可能な開発目標「SDG s」の推進
- ② 既存基本売電契約(～R6)終了後の新たな売電契約のあり方
- ③ 若手職員の育成と技術継承等
- ④ 工業用水道事業施設の耐震化対策

電気工水事業の取組

取組実績【H31(R1)～R4】

●経営指標の達成状況

	指標	数値目標	実績
電気事業	経常収支比率	125%以上	132% (R1～R4平均値)
	水力発電年間供給電力量	175,000千kWh (R10年度末)	155,636千kWh (R1～R4平均値)
	地域貢献	5億円以上/10年	52百万円/年 (R1～R4平均値)

▽主な取組状況

- ・水力発電所のオーバーホール等の実施（2箇所）
- ・甬喜ヶ峰風力発電所の営業終了（R6年5月）
- ・海洋温度差発電可能性調査の実施（別紙参照）

事業採算性が悪く
事業実施は困難

	指標	数値目標	実績
工業用水事業	経常収支比率	115%以上	114% (R1～R4平均値)
	契約率	50%以上 (R10年度末)	44%（鏡川） 34%（香南） (R4年度末)
	耐震化率（鏡川）	25%以上 (R10年度末)	20% (R4年度末)

▽主な取組状況

- ・香南市工業用水道との事業統合による給水量の拡大
- ・優先整備区間における管路更新計画見直しの実施

経営戦略【改定素案】（R6年度～R10年度：5年間）

主な改定内容等

I 経営理念等

「地方公営企業としての経済性を発揮し、地球環境にやさしいクリーンな電力と低廉で良質な工業用水の安定供給に努めるとともに、時代の要請や県民の皆様の期待に応え、産業振興や地域振興に貢献します。」という経営理念及び経営指標（左表参照）は、継続

II 新たな課題への基本方針

- ①持続可能な開発目標「SDG s」の推進
 - ・次世代の再生可能エネルギーの導入や新しい技術の活用についての情報収集及び研究
 - ・老朽化対策に合わせ、発電電力量増加に繋がる機器改良を検討
- ②既存基本売電契約終了後の新たな売電契約のあり方
 - ・地産地消に貢献する新たな売電契約による安定的かつより高い収益の確保
- ③若手職員の育成と技術継承等
 - ・積極的なPRによる人材の確保並びに人材育成の推進及び技術継承などによる組織力の向上
 - ・初級及び社会人枠の導入の検討や他県との技術交流の実施
- ④工業用水道事業施設の耐震化対策
 - ・新たなルートによる優先整備区間の管路更新検討・実施（鏡川）
 - ・施設更新に係る料金改定の検討・実施（鏡川）

改定スケジュール

